

審査員の評価

《最優秀賞》

Kyoto, Life in a Poem

応募者名：Doshisha MBA

- 映像が美しく、映像制作の技術面でも完成度の高い作品である。
- 伝統とモダンが共存する京都での留学生生活の魅力が、詩的な表現を使って美しく表現されている。

《優秀賞》

Here is kyoto

応募者名：温 少杰（オン ショウケツ）

- 高い撮影技術とプロ顔負けの演出センスが光っている。また、お坊さんの祈りの場面など一般の観光では目にすることが難しい日常風景も取材しており、京都に住む留学生ならではの映像になっている。これに留まらず、大学の授業風景や友人との交流も紹介しており、京都での学生生活も生き生きと描かれている。

《審査員特別賞》

Feeling Kyoto

応募者名：劉 芸希（リュウ ユンシ / Liu Yunhsi)

- 京都の四季の魅力を、アニメーションを使うことによってうまく表現していた。また、それぞれの季節ごとにしっかりとストーリーが含まれている。
- 女子留学生のナレーションによって、京都で暮らす留学生の心情がよく伝わってくる。

4 reasons why you "shouldn't" go to Kyoto to study

応募者名：i-Tabi Team

- 否定的なタイトルをつけて京都の魅力を表現する点が、ユニークである。
- 音楽や効果音や、アナウンスなど動画全体が可愛くまとめられており、楽しんで見ることができる。

Samurai's School Life

応募者名：NDESO

- 日本ではまだまだ少数であるムスリムのコミュニティが京都にも存在し、そこでムスリム留学生が活発に学び、楽しみ、様々な人たちと交流しながら暮らしていることを教えてくれた。
- ダイバーシティの重要性に早くから気づき、世界の文化・民族・宗教を尊敬する風土を育んできた京都の魅力がうまく表現されている。